

「令和元年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」9月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

【神奈川県のご概況】

図 10 a 10a 当たり予想収量及び作況指数
(9月15日現在)

1 神奈川県における令和元年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は3,050haで、田耕地の減少等により、前年産に比べ40haの減少が見込まれる。

また、主食用作付見込面積は3,040haが見込まれる。

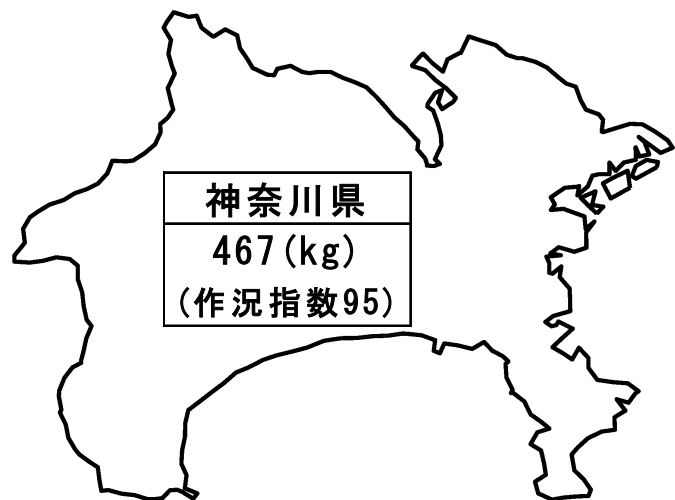
2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数が少なく、1穂当たりもみ数が平年並みであったことから「少ない」となった。

3 登熟は、全もみ数が少ないことによる相反作用及び出穂期以降の天候がおおむね良好に推移していることから「良」が見込まれる。

4 この結果、神奈川県の10a 当たり予想収量は467kgで、前年産に比べ25kgの減少が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された神奈川県の作況指数は95が見込まれる。

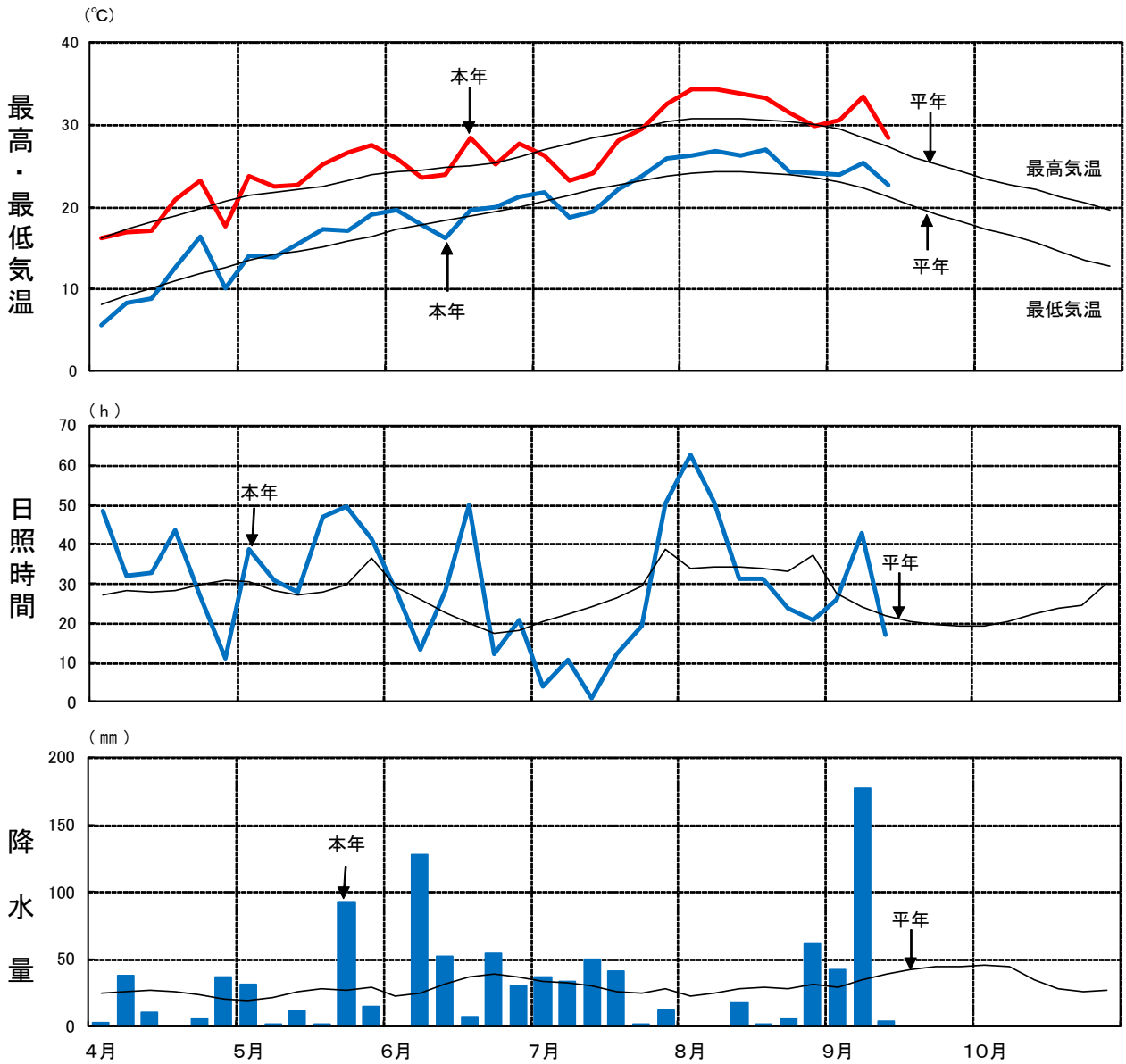
5 主食用作付見込面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は1万4,200tで、前年産に比べ1,000tの減少が見込まれる。



○ この資料は、「令和元年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」9月30日公表の補足資料として作成したものです。詳細については同公表資料を御覧下さい。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和元年 半旬別気象（横浜）



資料：気象庁



注：田植期及び出穂期の期日は、いずれも最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 神奈川県拠点 統計チーム
 電話：045-211-7174
 F A X：045-212-4680